

くせ毛・広がり対策「キューティクルにダメージを与えない」

くせ毛・広がり対策のポイントは、キューティクルにダメージを与えないこと。森海混は、トリートメントなどで一時的にくせ毛・広がりを抑える従来のケア（継続使用はキューティクルにダメージを与える）とは違い、キューティクルにダメージを与えないことで、少しでも悪化しないようにサポートするのが特長です。くせ毛・広がり、遺伝・血行不良によるものがほとんどで、一度起きると日頃のヘアケアで元に戻すのは難しく、「悪化させない」考え方が重要です。

●くせ毛・広がり悪化の原因「キューティクルダメージ」

くせ毛・広がり、大きく分けて①毛穴のゆがみ(遺伝)②コルテックスのバランスの乱れ(血行不良)③縮毛(①+②)があります。いずれも遺伝や血行不良が原因となるため、シャンプーやトリートメントなどを使った日頃のヘアケアで改善することは難しくなります。しかし、髪の毛の表面を保護するキューティクルがダメージを受ける(開く・剥がれる)と、くせやうねりが強くなったり、より広がるため、キューティクルにダメージを与えないことが、ヘアケアのポイントです。

キューティクルダメージの原因「合成界面活性剤・アルコール」

キューティクルダメージは、ほとんどのシャンプーやトリートメント、コンディショナー、リンス、ヘアオイルに配合の、合成界面活性剤やアルコールが大きな原因となります。これらが、キューティクルを保護する皮脂や 18-MEA、キューティクル同士を接着する CMC などの脂質を流出させたり、タンパク変性^{※1}を起こすことで、キューティクルが開いたり・剥がれたりします。すると、特に雨の日や湿気の多い日は、髪の毛が水分を吸うことで、くせやうねりが強く出たり、より広がりやすくなります。その他ダメージとなる原因として、紫外線、過度のブラッシング、ドライヤーのあてすぎ、カラー、パーマなどがあります。

※1 タンパク質が硬くなってしまふこと。キューティクル(ケラチン)が硬くなると、閉じなくなり、開いたままとなる。

●従来のくせ毛・広がり対策

・「シャンプー」

洗浄力の弱いアミノ酸シャンプーは、洗浄力の強いシャンプーに比べると、脂質の流出は少なくなります。また、髪をまとめるためにグリセリン(保湿剤)やオイル配合のシャンプーもあります。しかし、何れも合成界面活性剤が配合されているため、継続使用はキューティクルダメージの原因となります。シャンプーの使用量・回数を減らす or お湯だけで髪の毛を洗うお湯洗髪のお手入れがおすすめです。

・「トリートメント」

洗い流さないものを含むトリートメントで脂質を補う方法は、使用後うねりが抑えられ場合もありますが、合成界面活性剤・アルコール配合の商品が多いため、継続使用はキューティクルダメージの原因となります。毛先だけに使うなど、使用範囲・使用量を減らすことが重要です。アルガンオイル・椿油などの 100%オイルは、オイルを落とすためにシャンプーが必要となります。

●森海混「キューティクルにダメージを与えない」

合成界面活性剤・アルコール不使用で、脂質を流出させず、キューティクルにダメージを与えないのが特長です。ダメージを与えないことで、少しでも悪化しないようにサポートします。

合成界面活性剤・アルコール不使用ですが、水と油(リノール酸)がなじんだ弱酸性の膜が、傷んだ髪の毛の表面を覆います。含有する油分は微量のため、従来のトリートメントなどに比べると、使用感に物足りなさを感じる場合もありますが、森海混ケアで重視するのは、あくまで髪本来のツヤやなめらかさです。クシ・指通しの良さが持続する髪をサポートします。

